

競技上の確認事項

- 1 競技は、令和5年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
リベロプレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
- 2 競技日程及び方法は、プログラム掲載の通りとし、トーナメント方式による。なお、試合は3セットマッチとする。
- 3 前試合記録終了後、コート準備が整ったら速やかに合同練習に入る。合同練習の時間は原則5分間とし、パス程度の練習とする。なお、試合が連続する場合は、前試合記録終了10分後に合同練習時間を5分間置き、プロトコールに入る。この時間のコート使用は合同練習に準ずる。
- 4 公式練習は、6分間とする。合同で公式練習を実施しない場合は、各チーム3分間とする。
- 5 プロトコール以降は、ベンチ及びフロアには有効に登録された監督・コーチ・マネージャー(生徒)及び選手(12名まで)以外は入ることができない。
- 6 監督・コーチ・マネージャーマークは、左胸部につけること。チームキャプテンは、胸の番号の下に規定のマークをつけること。
- 7 スタッフ(監督・コーチ)は、統一された上下の服装(同じもの)でベンチに入ること。(短パン・ランニングシャツは禁止)また、マナーについては十分に留意すること。マネージャーは生徒のため適用しない
- 8 試合コート及びフロアでのボール使用は、合同・公式練習とセット間(フリーゾーンのみ)以外認めない。また、ロビー等でのボール使用は、禁止するものとし、他は会場ごとに定められた規則に従うこと。
- 9 最終エントリー・スタッフ変更届は、初回試合時に規定の用紙により代表者会議で担当役員に提出すること。
- 10 試合毎にエントリー用紙(公式記録用)を各会場本部に提出すること。(前試合の第1セット終了までに)なお、メンバーが変わらないチームは、その日の試合分エントリーを最初に提出しても構わない。

会場使用上の確認事項

- 1 体育館で使用するシューズは、室内専用のものを使用すること。
室内専用シューズで体育館の外へ出るとは禁止。
- 2 各自の屋外用の履物は収納袋に入れて各チームで保管すること。各会場の玄関先に脱ぎ捨てはしないよう会場の規則にしたがうこと。
- 3 原則、降雨時は濡れた傘は室内に持ち込まないこと。傘立てがない会場については、ビニール袋を各チームで準備し、管理をすること。
- 4 フロア内への飲食物の持ち込みはしないこと。フロア内への飲料の持ち込みは、登録選手・スタッフが使用するドリンクのみとし、スクイズボトル等に入れること。ペットボトル・コップ付き水筒は禁止する。
- 6 火災報知器・消火器などには触れないこと。
- 7 フロア内での観戦は原則として許可しない。
- 8 持参した飲食物等のゴミは、すべて持ち帰ること。
- 9 喫煙は、所定の場所で行うこと。空き缶等を灰皿代わりに使用し放置しないこと。なお、中学校会場は敷地内全面禁煙とする。
- 10 トイレの使い方には十分注意すること。
- 11 盗難・事故などに十分注意すること。
- 12 車は、駐車場で他の車に支障のないように指定場所に駐車すること。また、限られたなかでの駐車となるため乗り合わせてくること。

審判上の確認事項

- 1 本大会は、令和5年度(公財)日本バレーボール協会6人制競技規則による。
リベロプレーヤーは試合ごとに2名まで登録することができる。
監督、コーチ、選手ともに競技規則に精通し、忠実であること。
- 2 「トス」の後、監督及びチームキャプテンは、記録用紙にサインする。
- 3 各コートにウォームアップ・エリアを設ける。ただし、20・21日については、ベンチから壁側付近をエリアとし、エリアを示すラインがない場合がある。
- 4 セット間は、フリーゾーンでのボールの使用を認めるが、隣のコートの妨げにならないように注意し、パス程度とする。
- 5 スポーツマンとしてふさわしくない行為はしないこと。(相手チームに向かってのガッツポーズ等)
- 6 いかなる場合でも、試合を遅らせることのないように注意する。またコート上の選手がベンチのスタッフや交代競技者ともタッチ(ハイタッチなど)行なわないこと。
- 7 決勝戦以外はワンボールで試合を行なうので、デッドになったボールは、速やかに次のサーバーに渡すこと。
- 8 およそ8秒のテンポでサービス許可を行うため、次のサーバーは、相手からの返球を待たずにサービスゾーンに移動し、ボールを待つ。
- 9 タイムアウトの要求は、監督がオフィシャルハンドシグナルを明確に示して要求すること。
- 10 競技者交代の要求は、正規の競技中断中に行なうこと。また、交代競技者がコートに入る準備をして競技者交代ゾーンに入ること。そうでない場合は、競技者交代は認められず、そのチームに遅延に対する罰則が適用される。
同時に2組以上の競技者交代をしようとするときは、すべての交代する競技者は同時に競技者交代ゾーンへ入ること。
- 11 ゲーム中のワイピングは、原則としてコート内の選手が行なう。タイムアウト、セット間及び審判員が危険と判断した場合のみモップ使用を許可する。

その他の規定等

- 1 ユニフォーム・パンツ・ソックスの色とデザインはチームで統一(同じもの)すること。
ユニフォームの背番号は、1～20番が望ましい。(やむえない場合1～9番まで認める)その他の規定は、日本中体連バレーボール競技部規定に準じる。(県中体連専門部HPに新・ユニフォーム規定として掲載)
- 2 パンツの下からはみ出るようなスパッツの使用は、個人でも全員が揃って使用している場合でも禁止する。
- 3 ハチマキやサポーター類もユニフォームに準ずるものとする。したがって刺繍等は学校名のみとすること。
- 4 アンダーウェア等について
 - ① アンダーウェアは個人あるいはチーム全員であっても、ユニフォームの袖や裾、首等からはみ出してはならない。ただし、プレーの動作によってユニフォームの下から見えてしまうことは故意に見せるものでない限り制限されない。
 - ② 医療を目的としたサポーター類は、プレー上危険がある場合や、プレーに有利に働く場合を除いて、規制されない。
 - ③ 明らかに色が違う腰に巻くサポーター・コルセット類はユニフォームの下に着用しなければならない。

試合開始前・セット間及び終了の手順

< 試合開始前 >

試合前	チーム	主審・副審
	審判員のネット等のチェック時は、ネットを使用せずにウォーミングアップする事ができる。	審判員は、ネットの高さ、張り具合、アンテナの位置及び、サイド・バンドの位置をチェックする。
11分前	チームキャプテンは、トスのために記録席へ行く。トスの後、記録用紙にサインする。	主審は、記録席前で、副審を立ち合わせてトスを行なう。副審は、両方のチームのキャプテン、監督を記録席に導き、記録用紙にサインをさせる。
10分前	両チームが一緒か、または個別に(サブ権を得たチームから)公式練習を開始する。	主審は、公式練習開始を吹笛する。そして、ボール、スコア・シート、ブザー、ユニフォームなどゲームに必要な用具をチェックする。ライン・ジャッジと打ち合わせを行なう。副審は、公式練習の計時を行なう。
7分前	個別に公式練習を行っている場合は、交代する。	副審は、各チームが個別に公式練習を行っている場合は、その交代を吹笛で合図する。
4分前	公式練習を終了し、各チームのメンバーは速やかにベンチに戻る。	主審は、公式練習の終了を吹笛する。
3分前	全プレーヤーは、エンドライン上に整列する。主審の吹笛後、エンドライン上であいさつし、お互いに拍手をする。 <u>主・副審へはあいさつをしなくてよい。</u> その後、各チームメンバーはベンチに戻り、スターティングメンバーは待機する。	主審は、両チームのプレーヤーをエンドライン上に導く。主・副審は審判台の前で、ネットをはさんで記録席側から見て左に主審・右側に副審が位置する。両チームが整列した吹笛する。 審判員はそれぞれの位置につく。
1分 30秒前	主審の合図で、スターティングメンバーはベンチから直接コートに入る。	主審は吹笛で、プレーヤーをコート内に導く。副審及び記録員は、それぞれスターティング・ライン・アップを照合する。その後、副審は、ボールを最初のサーバーに送る。
0分前	最初のサーバーは、主審のサービス許可の吹笛によりサービスを行なう。	主審は、サービス許可の吹笛をする。

< セット間 >

試合前	チーム	主審・副審
セット終了後	セットが終了したら、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列する。プレーヤーは主審の吹笛で向かって右側のサイドラインに沿って進み、支柱の外側を通過したら、直接それぞれのベンチに戻る。	主審は両チームのプレーヤーがエンドライン上に整列したら、コートを交替するよう吹笛とシグナルで合図する。
2分 30秒後	プレーヤーは、副審の吹笛により、ベンチから直接コートに入る。	副審は、記録員の合図を受けて両チームにコートに入るように吹笛で合図する。副審と記録員はその後、直ちにスターティング・ライン・アップを照合する。

< 最終セットのコートチェンジ >

試合前	チーム	主審・副審
いずれかのチームが13点目を先取した時	主審の吹笛で、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列する。主審の吹笛で向かって右側の支柱の外側をまわりコートを交替する。	主審は、13点目の吹笛後、両チームのプレーヤーがエンドライン上に整列したら、コートを交替するよう吹笛とシグナルで合図する。

< 試合終了後 >

試合前	チーム	主審・副審
速やかに	試合が終了したら、全プレーヤーはエンドライン上に整列する。主審の吹笛後、エンドライン上であいさつをし、お互いに拍手をする。チームキャプテンは、記録用紙にサインする。チームは直ちにベンチから退出する。	主審は全プレーヤーをエンドライン上に整列させる。主審は、審判台を降り、副審が審判台の右側の定位置に着いたら吹笛で、両チームにエンドライン上であいさつさせる。そして両チームキャプテンをともなって記録席へ行き、記録用紙にサインさせ、その後、記録員の記録用紙への記入を完了させる。